

とどり しね おかほ ひほ まち

中国・四国

第  
36  
号

# コープCSネット

便り

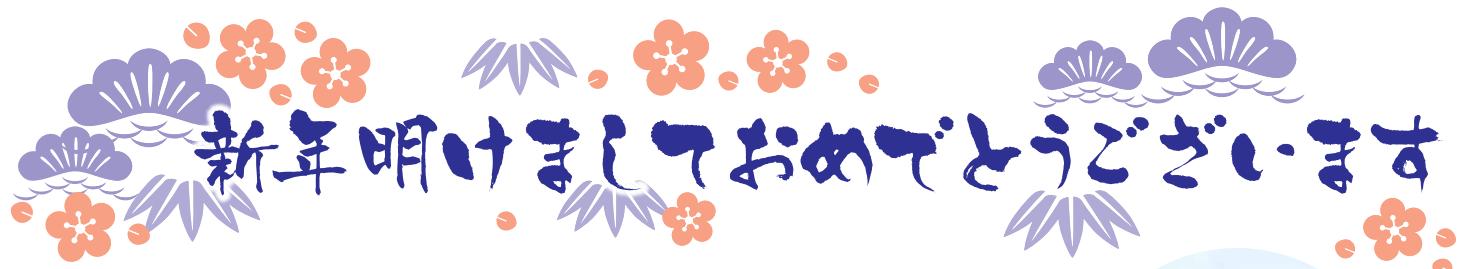
生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合会報

びほ かがわ えひめ こうち

発行  
2014年1月1日

通巻36号

## co·op 9生協の夢広がるネットワーク



今年度は、第3次中期計画の最終年度として、原料高や消費税増税対応準備など険しい経済局面の中でスタートしました。ようやくここに来て回復の兆しがありますが、いよいよ勝負となる1~3月期となっています。

会員生協のみなさま、一層の互恵・相互発展を切に願って、新年のごあいさつといたします。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



コープCSネット理事長  
三橋 幸夫

## ISO9001を全組織に拡張しました



コープCSネットがISO9001を認証取得し、今年で6年が経過。今年度は昨年度から進めてきた新マネジメントシステムをさらに進め、認証範囲を全組織に拡張しました。審査機関も変更して10月に審査を受け、11月に認証されました。



詳しくは4ページをご覧ください。

## CONTENTS

ページ

- ② 新年挨拶 理事長 三橋幸夫
- ③ 新年挨拶 専務理事 小泉信司
- ④ コープCSネット ISO9001 更新審査・拡張審査
- ⑤ コープCSネット虹の会 海外研修報告
- ⑥ コープCSネットピックス
- ⑦ コープやまぐち50周年のとりくみ
- ⑧ コープやまぐち50周年のとりくみ



コープCSネット理事長  
三橋 幸夫

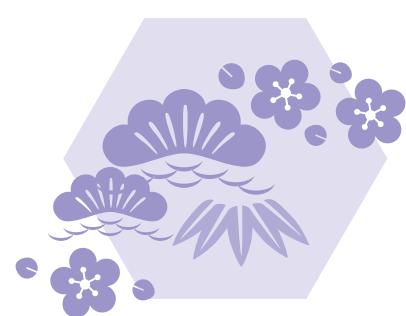
# 新年明けまして おめでとうございます

今年度は、第3次中期計画の最終年度として、原料高や消費税増税対応準備など険しい経済局面の中でスタートしました。上半期は予想以上に厳しく、供給高・GPRともに低迷し、会員生協の経営に深刻な事態を招きかねない状況で推移しました。ようやくここに来て回復の兆しがあります、いよいよ勝負となる1～3月期となっています。4月からの増税を前にして当初、計画としていたPB商品のリメイクはかなりすんだとはい、引き続く円安や原料確保といった困難に十分対応しきれておらず、限られた時間の中でなお一層の努力を必要としています。全国の生協は2年がかりでコープ商品の「ラブコープキャンペーン」を開催することとし、3月にはかつてないテレビCMの全国放映も決定しました。円安・株高など日本経済の一時的な回復基調が表れていますが、国民所得への反映は不確定で、一方では物価上昇、公共料金や社会保障に関する負担増の上に消費税が覆い被さることから、消費者・組合員のくらしが一層厳しくなることは明らかです。そんなときに生協がどこまで、どんな応援ができるか、その存在価値が問われ、事業連合の組合員のくらしと会員生協の経営に貢献するという命題が鮮明になるときだと痛切に感じています。

コープCSネットは設立以来、今年で10年目を迎えた新発展段階に入る時期になりました。「商品の統合」からスタートし、尾道物流センターの整備など「商品事業への統合」へと発展し、組合員サービスセンターや昨夏のリサイクルセンターの開設など順調にかつ確実に歩みを進め、システム統合計画もまとまつたことから「基盤整備」の時期を終えようとしています。

この間実践を通して、中国地区各県は生産県でもあり、またそれぞれの生協の発展の歴史の中で培われてきた地域経済との深い絆を維持しつつ、共通の課題を追求していくというコープCSネットのスタイルを作り上げてきました。全国の事業連合の中でも最も県別対応を緻密に実行してきました。それは、山陽・山陰地区という気候や風土の違いにも合致させる試みでもあります。商品事業におけるこうした取り組みは事業運営においても具体化が求められています。組合員サービスセンターやOCRセンターなど統合可能な部分は実現してきましたが、この分野ではもっと高度な連帯を維持できる可能性と必要性があります。コストパフォーマンスを最適化し、組合員サービスを高めていくことなしに、各会員生協の先行きを磐石にする道はなく、事業連合の場を活用して知恵と工夫を寄せ集めて是非形のあるものにしていきたいと思います。存在価値の立証が求められる時代に向かう中で、1～3月期に十分な準備と組み立てをして、コープCSネットの将来を見極める第4次中期計画（2014～2016）をスタートすることとなります。

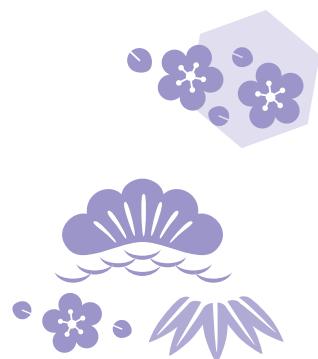
会員生協のみなさま、一層の互恵・相互発展を切に願って、新年のごあいさつといたします。  
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



# コープCSネット 専務理事 年始の抱負



コープCSネット専務理事  
小泉信司



新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、コープCSネットの事業活動・運営に対し、ご指導・ご協力をいただき大変ありがとうございました。

宅配事業は11月末時点において累計供給高が予算比97.8%（前年比99.2%）と厳しい状況が続き、十分には会員生協の事業に貢献できているとは言えませんが、シニア向け媒体「しあわせごはん」の取扱い生協の拡大、組合員の利用定着実験（おどろ��ーポン）、簡便商品や個食対応商品の拡大など、2012年度と比較して前進した部分も多くあります。引き続き、組合員の生活の変化や事業を取り巻く環境変化に対応した改革を実行し、多くの組合員に支持される品揃え・価格・カタログ作成を進めています。

また、昨年7月にコープCSネットエコセンターを開設し、中国地区5会員生協58事業所で組合員から回収したリサイクル品を再資源化することが出来ました。エコセンターを運営するコープCSネットの子会社 株式会社ハートコープおのみちも8月末には特例子会社に認定され、コープCSネット全体でも障がい者雇用にも貢献することができました。

システム統合は若干遅れていますが、今後の連帶を順調に行うためにも、早々に現状の問題を解決し、対応を進めていくこととしています。ISO90001は認証範囲を拡げ、組合員サービスセンターを含む全事業所の認証を昨年11月に受けました。

今年4月より消費税が5%から8%へ増税されることが決まり、中国地区四国地区会員生協の皆様や取引先の皆様の多大なご協力のもと、価格対応や量目の見直しなど様々な準備をして参りました。

2014年は消費税増税だけでなく、年金問題、雇用問題、ワーキングプア問題などの様々な社会問題から消費環境が一層厳しくなることが予想されます。状況が厳しくなればなるほど、本来の生協としての役割を發揮することが求められています。それに応える事業連合の事業・運営でなければなりません。

事業連合の数値に対する姿勢・達成意識と行動が会員生協の経営に大きく影響を与えていたことに事業連合職員は十分に自覚し、今以上に会員生協と意思疎通を図っていくことが求められています。会員生協の意見・要望に対して、事業連合として真摯に対応し、一体となつた事業運営の中で数字を達成していくためにも、会員生協の皆様にはご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

# ISO9001を全組織に拡張しました



コーポCSネットがISO9001を認証取得し、今年で6年が経過。今年度は昨年度から進めてきた新マネジメントシステムをさらに進め、認証範囲を全組織に拡張しました。審査機関も変更して10月に審査を受け、11月に認証されました。



CSR・ISO担当  
担当課長  
光成哲至



CSR・ISO担当(兼)  
監事會事務局 統括課長  
松尾真二

## 1. 2012年度、新マネジメントシステムとしてスタート

2012年度においては、改めて組合員・会員生協の要望や期待にこたえられる仕組み（事業）していくことを目的として掲げました。具体的には、ISO9001の枠にとらわれずにシステムを再構築し、新マネジメントシステムをスタートさせました。運用上、ISO9001の仕組みが業務の上乗せや重複になっていることは、実態に合わせて変更・廃止しました。仕組みの整理とともに認証範囲も見直し、組合員の声などの顧客関連プロセスやインターネット事業の2部門（事業企画室、物流部）を拡張しました。また内部統制にも関連するリスク管理や法令遵守の強化などもISO9001を支援ツールとして整理しました。

### (2012年度見直した主なもの)

- 組織の課題目標設定単位にあわせるため、サイトを課単位ではなく部単位に変更。
- 事業運営方針からくる部門目標や課題を品質目標として位置付けて実行計画を作成、その進捗なども含めて報告事項を整理。
- 年1回のマネジメントレビューはやめ、常勤理事会や業務会議をマネジメントレビューの場として変更。
- 教育訓練（個人別力量）の仕組みを評価面接の制度に置き換え。

## 2. 2013年度、ISO9001を全組織に拡張!

ISOの認証範囲内だから範囲外だからということではなく、同じ土俵上で考え、業務運営の問題なども共有しながら組織が一体となって進めていくことも必要と考え、2013年度は全組織に適用し、認証範囲を拡張することとしました。

### (2013年度拡張部門)

管理部、総合企画室（組合員サービスセンター）、情報システム部

#### (1) 審査機関を変更

現在の仕組みはISO9001を支援ツールとして全体のシステムを再構築してきました。

今後、“このシステムや第三者認証をどう活用し事業を継続・発展させていくのか”や、“我々の目的や思いを反映したマネジメントの仕組みをビジネスパートナーとして適切に審査及び評価（指摘）をしていただきたい”との思いから、審査機関を\*DNV（デットノルスケベリタスエーエス）に変更しました。

#### (拡張に向けたシステム構築の考え方)

- ISO9001を支援ツールとして活用し内部統制の整備をさらに進める。
- 文書は必要最低限でシステム構築する。
- 2013年度は指標を明確にしてプロセスのパフォーマンスを評価する。
- 部門横断で検討する委員会（リスク管理委員会、品質保証委員会）を設ける。

#### (2) 審査の結果

10月2日～4日の3日間、DNVの審査員2名から更新監査、拡張監査を受けました。指摘事項は19件（不適合3件、観察事項7件、改善の機会8件、特筆すべき活動1件）あり、不適合事項の是正を終え、11月に認証されました。

\*DNV: DNVビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社。ISO9001などの各種マネジメントシステムを認証する機関。

## 3. 今後も継続して改善ていきます！

これまでのISO9001の運用の中で、通報書削減の取り組みは数値の上でも一定の成果につながっています。（以下表参照）

しかしながら、この中には重大な項目であるアレルゲン表示ミスなどもあり、今後はさらに業務プロセスに踏み込みながら改善を進めていく必要があります。

また内部監査の有効性を上げていくために、手順や方法、内部監査員の再教育も実施しました。次年度はさらに部門業務や業務プロセスのリスクに応じた内部監査の検討も必要と考えています。

その他、購買先評価方法、教育・訓練によるルールの周知方法など、改善する課題は山積みですが、今後も組合員や会員生協の満足向上のため、継続的に仕組みを改善していきます。

|     | 2007年 | 2008年 | 2009年 | 2010年 | 2011年 | 2012年 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 食品  | 534   | 422   | 369   | 379   | 398   | 227   |
| 非食品 | 255   | 159   | 148   | 123   | 94    | 59    |
| 合計  | 789   | 581   | 517   | 502   | 492   | 286   |
| 前年比 |       | 73.6% | 89.3% | 97.0% | 98.0% | 58.1% |

# コープCSネット虹の会海外研修報告 シンガポール&マレーシア

食品商品事業本部執行役員本部長 白鷗 裕

期間 2013年11月1日～5日(3泊5日)

目的 NTUCフェアプライス生協店舗視察を中心にシンガポールの流通情勢や文化、産業の視察及び、虹の会メンバーの交流、懇親を通じ相互の信頼関係を高める。

シンガポールは東南アジア、マレー半島の南端に位置し、マレーシアの14州から独立した都市国家で、淡路島ほどの面積に約500万人のマレー系、中国系、タミール系の人々が暮らしています。それぞれ宗教や生活様式は様々ですが、宗教や人種間の争いや暴動も無く、ゴミも無い治安の良い国です。法律はかなり厳しく、入国審査も近年厳しくなっています(麻薬持ち込みは外国人であっても即死刑、その他鞭打ちの刑が残っているのも特徴的です)。

シンガポール周辺は四季のないモンスーン気候に属し、季節を問わずスコールがあり、雷雨がやむと強烈に蒸し暑く感じます。

シンガポールは金融、観光で成り立っており、産物がほとんどないため水や食料、燃料など生活に必要なものの大半は輸入に頼っており、物価は総じて高く、特に嗜好品や贅沢品であるタバコ、酒、車、ブランド品などには大きな関税がかかっています。

平均年収は約240万円ですが、国の支援により、年収が少ない人でも一定の暮らしができるよう、税金免除や医療費の負担減、公団住宅などの住環境が整備されています。通勤に便利な市内部の公団住宅は3LDKで約8千万円(5年前は約4千万円)で、郡部になると約2500万円程度。電気、ガス、水道代はあわせて月2万円程度かかりますが、ほとんどがエアコン代です。郊外の公団住宅は相場はそれなりに安いものの、通勤は地下鉄やバスを中心となり、ある程度の時間的制約を受けます。

交通事情は都市国家のためほぼ整備されており、高速道路が無料で街中に入ると有料(自動課金)となります。高速道路は朝夕多少渋滞しており、これ以上の渋滞にならないよう自動車の購入抑止政策を取っています(カローラクラスで約900万円、スポーツタイプになると安い公団住宅が買える値段となります)。

食事は基本的に3食とも外食(店が完全に閉まってしまう旧正月以外)で屋台村のような場所が中心ですが、中華やイタリアンの専門店だけでなく、最近は日本食ブームのためあちこちに寿司、ラーメン店などもみられます。

初日は移動後マリーナベイサンズ泊、約7500億円を投じて建設した人気のホテル。地震のない国ならではの3棟の屋上がプールでつながる斬新なデザイン。ホテル内のカジノの利益が毎日3億円。お金の使い方おかしくないですとあきれてしまいます。

2日目はセントーサ島視察。タイガースカイタワー、マーライオンタワー、水族館・ドルフィンラグーン、ユニバーサルスタジオシンガポールなどがある人気のスポット。夜は花火やレーザーを駆使した屋外ショーを視察し、リッツカールトンホテル泊。

3日目は店舗視察。シンガポールの国内小売業NO.1は今回訪問したNTUCフェアプライス生協で食品の価格水準を抑制することで住民の生活の安定させる目的のもと1983年に設立され、2009年時点で220店舗、事業高1000億円、マーケットシェア52%を突破(2011年の総事業高は1800億円、250店舗、2000品目のPB商品保有)。今回訪問した生活日用品を低価格で提供するフェアプライス店、洗練された海外食品が充実した中所得層向けフェアプライスファイネスト店のほか、広範囲の非食品やサービスを充実させたハイパーマーケットや24時間営業のコンビニエンスストア、ガソリンスタンド合体型コンビニエンスストアなど様々なフォーマットの店舗を運営しています。店舗見学は時間の制約もあり、フェアプライス店、フェアプライスファイネスト店の2店舗でしたが、まず率直に感じたのは物価の高さで、牛乳が300円前後、野菜もねぎが200円前後、白菜1/2カットも200円。輸入品の充実したファイネスト店では日本産白菜1/2が400円、きのこ類が150円前後、冷凍食品も日本のものは1.5倍から2倍程度。その他和牛や、日本製の菓子、飲料、調味料の品揃えも充実していました。とうふは袋とうふや充填とうふが主力となっていました。もともと3食外食が当たり前ということでしたが、寿司などの品揃えはあったものの惣菜売場が比較的狭いのは意外でした。生活必需品はそれなりに手がでる価格とはいえ、フェアプライス店が低価格であるとすると、他の競合店の価格は年収240万円ではとても日常的には利用できない価格帯であろうと想像できます。ただしある程度収入のある中所得者や日本などからの赴任者については、十分な品揃えであると感じ、また改めて食を海外に頼る国であることを実感できました。

昼からはマーライオン公園、ナイトサファリなどシンガポールの重要な観光収入源である施設の見学をしました。マーライオンはシンガポールのシンボル。海側に橋ができ経済環境が悪化したため、橋の海側に引越しして経済が回復したというガイドさん情報。

最終日は国境を越えてシンガポールからマレーシアに入国。川の両側にそれぞれの出入国審査場があります。これら国境付近の検疫所近辺は撮影禁止で捕まると長時間拘束されます。マレーシア南部のジョホールバル地方はシンガポールの物価の約1/2。朝マレーシアからシンガポールに出勤し、夜はまたマレーシアに帰る人が毎日約10万人。逆に週末は多数の人がシンガポールからガソリン(タンクに3/4以上ないと4万円ほど罰金をとられます)と食料の買出しに国境を越えるという状況でした。ジョホールバルではアバカールモスク、文化資料館の見学、バティック(ろうけつ染め)などの製造体験などを行いました。

参加者の皆様のご協力で全員無事に帰国でき、本当にありがとうございました。次回以降も、多くのコープCSネット虹の会会員の皆様にご参加頂ける有意義な企画にして参りますのでよろしくお願い申し上げます。



高台から見たシンガポールの風景



シンガポールのシンボル マーライオンの前に



マレーシア南部のジョホールバル地方では、伝統的なバティック(ろうけつ染め)の製造体験をしました

# コープCSネット トピックス

## 1月4回から商品案内チラシでの価格表示が変更になります

コープCSネットでは、2014年4月より消費税が8%へ増税されるにあたり、商品案内チラシに2014年1月4回より本体価格・税込み価格を併記してまいります。

### 【1月4回からの主な変更点】

税込み価格を基準とし、本体価格は、税込み価格から税額分を差し引いた参考価格として表示しています。その為、本体価格は小さくし、税込み価格を強調して表示しています。

画像は、キャロットなどの非食品商品案内チラシの価格表示例です。

(本体価格  
934円) 980円

## 11月新発売! コープCSネット開発商品

### 2013年11月に2商品がコープCSネット開発商品の仲間入りをしました

#### CS 特級こいくちしょうゆ

\*「おかやまコープ 特級こいくちしょうゆ」がCS開発商品になりました。



一般的な特級クラスよりもさらにうまい成分を上げ、塩分は低く製造しています。一般的にはこいくちしょうゆの塩分は17.0~18.0%ですが、「CS特級こいくちしょうゆ」は16.5%です。

【デビュー】2013年11月1回

【規格】1000ml

【通常供給価格】158円

#### 【商品特長】

- 昔ながらの製法で麹菌を自然の力で発酵させ、もろみを熟成させて造る「本醸造」のしょうゆです。
- 遺伝子組換でない大豆を使用しています。
- 合成着色料、合成保存料は使用していません。
- 原材料:脱脂加工大豆(遺伝子組換えでない)、小麦、食塩、砂糖、アルコール

#### CS 中華丼の具(国産豚肉入り)

組合員モニターさんの声  
「野菜やシーフードの食感もちゃんと残っていて美味しい」  
「きぬさやの色がきれいで」  
「具材の種類が多くて良い」  
などの声を頂いています。

【デビュー】2013年11月3回

【規格】2食入(210g×2) 【通常供給価格】348円

#### 【商品特長】

- 国産豚肉、いか、えびに5種の野菜(キャベツ・はくさい・にんじん・たけのこ・きぬさや)ときくらげを入れた本格中華丼の具です。
- あんの色は白色で、お子様からご年配の方まで、幅広く食べて頂けるまろやかな白湯(パイタン)ベースの味付けにしました。
- 電子レンジ、湯せんでも簡単に調理でき便利です。
- 原材料:野菜(キャベツ、はくさい、にんじん、たけのこ、きぬさや)、豚肉、米発酵調味液、きくらげ、ごま油、チキンエキス、いか、しょうゆ(大豆・小麦を含む)、砂糖、ポークエキス、えび、食塩、ラー油、香辛料、増粘剤(加工でん粉、キサンタンガム)、調味料(アミノ酸、核酸、有機酸、無機塩)

## 尾道流通センター紹介DVDが完成しました! 「ようこそ尾道流通センターへ～生協商品が届くまで～」

現在、広島県尾道市にあるコープCSネットの物流センターには、尾道ドライセットセンター、尾道冷凍セットセンター、OCRセンター(注文書読み取りセンター)、エコセンター(リサイクル物回収センター)の4つの施設が集約されています。中国地区5会員生協ならびに組合員さんに、この施設を分りやすく紹介するために、DVDを作成しました。タイトルは、「ようこそ尾道流通センターへ～生協商品が届くまで～」。内容は、組合員さんが注文書を提出し、生協商品が組合員さんに届けられるまでを4つの施設での作業を紹介しながら、時系列に案内しています。

DVD作成にあたっては、試作DVDを会員生協の組合員さんに視聴して頂いて、ご意見をもとに表現や説明を工夫しました。

#### 注文書の記入・提出

↓ OCRセンター:注文書読み取り

↓ 尾道ドライセットセンター、尾道冷凍セットセンター:商品の集品作業

↓ エコセンター:リサイクル物の回収・加工

組合員さんの視点  
で分かりやすく  
解説しています。



尾道流通センター



常温商品の商品セットの様子

CDのセットなどは  
エアクッションで保護しています

この紹介DVD(上映時間25分)は、中国地区5会員生協に配布され、学習会などで上映して頂く予定です。

コープCSネットでは、尾道流通センターに見学に来た会員生協組合員さんへの紹介資料として活用していく予定です。

# コープCSネット トピックス

## 2013年度「もしく基金」状況報告

コープのもしくの産地、沖縄県恩納村のサンゴは、近年海水温の上昇により大きなダメージ（白化現象と呼ばれるサンゴの死滅）を受けています。サンゴの死滅は、沖縄県近海の生態系に大きな影響を与えます。

命を育む海を未来に渡って保全するために、中国地区5会員生協と四国地区1会員生協（鳥取県生協・生協しまね・おかやまコープ・生協ひろしま・コープやまぐち・コープかがわ）の組合員が対象商品を利用することによって基金を積み立て、サンゴを養殖し、恩納村の海のサンゴ保全に役立てるのが「もしく基金」です。

毎週の配送（宅配事業）とコープのお店（店舗事業）において、「もしく基金」対象商品の売り上げの一部を「もしく基金」として、サンゴ礁再生事業に活かしています。宅配、店舗での対象商品は会員生協によって異なりますが、2012年度は2,271,973円を「もしく基金」として恩納村漁協にお届けしました。2012年度の「もしく基金」は、約800本のサンゴの植え付けや管理に使われています。

今年は、前年に襲った台風の影響で深刻な原料不足となり企画中止となった対象商品もありますが、

**2013年度4月～11月までの基金は、1,430,740円となっています。**

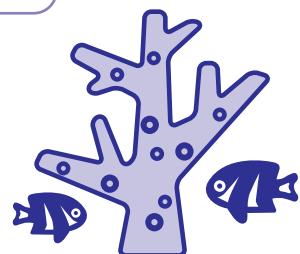
もしく基金  
主な対象商品



CS開発商品  
恩納村産味付太もしく 60g×4



CS開発商品  
沖縄産味付糸もしく 60g×4



## 想いを届けよう東日本へ



コープCSネットでは、被災された生協とメーカー・生産者にお届けする「復興支援金」として、2013年4月1回から2014年1月5回までの対象商品の供給代金の一部を積み立てています。

積立総額は、2013年11月末時点で、**14,562,632円**となっています。  
(積立て額は企画回で集計しています)

HelloCoop、CIEL、eats、CO-PAL、ここくる  
中国地区会員5生協の食品案内チラシで企画する  
コープCSネット開発商品

1点につき1円の支援金積立  
2013年4月1回～11月4回

**9,593,229円**

キャロット企画全品  
中国地区四国地区9会員生協の非食品案内チラシ  
全商品対象

1点につき1円の支援金積立  
2013年4月1回～11月4回

**4,969,403円**

2013年度の支援金の用途については、会員生協（中国四国9生協）の理事会にて決定する予定です。

## コープのおいしめし! 特番「冬の瀬戸内篇」を放送しました

「コープのおいしめし!（中国地方4局 毎週月曜日 11:25～11:30）」の放送も4年目に入り、中国地方の多くの組合員さんに好評頂いている番組になりました。

過去の特番では、中国地方や鹿児島県を舞台に料理のレシピを紹介してきましたが、今年も2013年12月16日（月）に特別番組を放送し、多くの組合員さんから好評を得ました。



### 番組内容

夏特番に続き、俳優の梅宮辰夫さんを料理番長に迎え、冬にぴったりの自慢のオリジナル料理を教えていただきました。

主な出演者：梅宮辰夫さん（右）、岡田大輔さん（左）、国光かよこさん（中央）  
生協の共同購入・個別配達で扱う食材を使い献立の悩みを解消します。

### 【ホームページでの動画公開】

2014年2月末まで、動画（番組ダイジェスト版）を コープCSネットホームページで公開しています。

<http://www.csnet.coop/> まで

## コープやまぐちは2013年創立50周年を迎えました。

10月22日、組合員・行政関係・全国の生協・お取引先・役職員など、コープやまぐちの50年に関わっていただいた800名を超える方々にご参加いただき、記念式典を開催。50周年を共に喜び合うことができました。



会場には、東日本復興と平和を願うおりづるも。被災地で作られた手作り品の販売や募金活動も行いました。式典後には50周年記念新商品や産直商品の試食も実施。

創立50周年を機に、コープやまぐちは次の半世紀に向けて県民の過半数が利用される、暮らしになくてはならないと言われる生協をめざし、安心が広がる居場所づくりを推進していきます。式典では、その取り組みの大きな柱である宅配事業と店舗事業の新しい名称とマスコットキャラクターの導入、記念事業の内容を発表しました。

### 宅配・店舗の新名称



マスコットキャラクター「ここ」。「安心が広がる居場所のここ、心(こころ)、コープの意味が含まれています。



「ここ」に&(アンド)の「と」を加えて「こと」。「こと一緒に」「こと私」「こと創るくらし」などみんなの暮らしに「ここ」が広がります。コープのお店を真ん中に、組合員どうし、組合員と役職員が暮らしに役立つお店と一緒に創っていこうという意味を込めています。



「ここくる」の「くる」は「県内どこにでもやってくる」という意味を込めています。グループやご自宅、職場など、あらゆる利用場所にやってきます。組合員どうしや職員との信頼の絆を築き、笑顔でつながる宅配を目指します。

### 記念事業として、買物弱者支援で色んなタイプのお店・サービスを展開します。

- ・移動店舗おひさま号は背を低く利用しやすくした新型車両を導入。これまでの県西部だけでなく、県北部、東部の中山間地を中心にエリアを広げました。
- ・いづみ店で実施している「お買物便利便」、店舗でお買物された商品をご自宅へお届けしています。お届けサービスの、配達エリアを広げました。
- ・コープとコンビニがコラボして、超小型スーパーマーケット実験店にチャレンジします。



### 50周年記念誌発行

#### ・『県民“共有”の財産を育てる 半完成協奏曲♪さらなる・はんせいきへ♪～コープやまぐち50年の軌跡』

山口新聞で連載された「コープやまぐち50周年特集」の記事、理事長・組合員・有識者による未来の運動・事業を語った座談会、内から見た半世紀「8つのステージ」、「日本の生協の歴史とコープやまぐち」など。〈定価1575円〉



#### ・伝統食レシピブック『伝え合うおいしいやまぐち～現代に生かす伝統食』

伝統食の継承が困難になっている今、運動として地域文化の継承も大切にしていくと製作。県内全域の伝統食を組合員が聞き取り調査した詳しいレシピ、山口県立大学の先生方による伝統食についてのお話、組合員の伝統食エピソードを掲載。〈定価300円〉



### 「わが家のいちおし商品100選」

50周年を記念して、組合員同士でもっと商品の食べ方や料理方法を教え学び合おうと募集。

組合員による投票で100選を決定しました。マークと一緒に店舗・宅配で活用しています。

